



CLUB OFFICE  
 京都YMCA 三条本館  
 京都市中京区三条通柳馬場角  
 TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS  
 "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2015

11

Bulletin

2015.11.1発行

第30巻第5号通巻359号

主  
 題

- 国際会長** 信念のあるミッション Mission with Faith  
**アジア会長** 愛をもって奉仕をしよう Through Love, Serve  
**西日本区理事** あなたならできる！ きっとできる “You can do it! Yes, you can!”  
 —生きる しなやかに さわやかに— —Live flexibly and refreshingly—  
**京都部部长** いつも喜んでいなさい  
**メネット主任** メンと共に メネットはワイズの応援団

聖  
 句

私たちは、四方から苦しめられてもいきづまらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打倒されても滅ぼされない。

コリントの信徒への手紙二第4章8～9節



## 『西日本区の「Yサカアップ」を目指して』

西日本区Yサ・ユース主任 河合 久美子

今期、西日本区YMCAサービス・ユース事業主任を仰せつかっております、京都ウエストクラブの河合久美子です。京都プリンスクラブの皆様には日頃のYサ・ユース事業へのご協力に心より感謝申し上げます。

今期、事業主題を、「今こそ Yサカ アップ！ ～YMCAとともに ユースとともに 確かな未来を～」とさせていただきます。混迷の時代において、今こそワイズメンは、YMCAと力を合わせ、一歩前へ進んで、より深く諸問題とかかわっていく必要があるのではと感じています。「Yサカアップ」をキーワードとして、皆様の意識を高め、YMCAに対してより充実した支援を行い、西日本区のYサ・ユース事業のいっそうの発展と活性化に繋がるお手伝いに努めて参りたいと考えております。

また、ユース支援については、ユースコンボケーションをその中心的な事業の一つとして位置付け、取組みを進めさせていただいております。今夏京都で開催されたアジアユースコンボケーション(AYC)においては、西日本区から17名のユースが参加いたしました。アジア地域大会APナイトで披露された、素晴らしいダンスパフォーマンスをご記憶されている方も多いのではと存じます。西日本区においては、この度、AYCの成果を取りまとめ、詳細な報告書を作成し、10月に行われた次期役員研修会に引き続いて、区としての報告会を開催いたしましたところ、多くのワイズメンにご来場いただきました。報告会では、AYCに参加することにより得られたユースの自己成長や気付きについて、熱く生き生きと語られ、彼ら彼女らの心からの想いを感じることでできる機会となりました。来年台湾で開催されるIYCにも繋げていきたいと考えています。是非、クラブや部単位でもユースを招いてAYC報告会を開催していただき、より多くの方に、ユースの想いに耳を傾けていただくことができればと願っております。

今期、事業主任として、9つの部における全ての部会に、西日本区キャビネット全員と共に、チームとして参加させていただくことを目指しています。またYY(Y)フォーラムの機会にも各地を訪問させていただきます。これらの機会において、部長様や主査様、メンバーの皆様と交流を深め、各部の現況やニーズの把握に努めていく所存です。また、西日本区全てのワイズメンが情報を共有できるよう、事業通信を毎月発行し、活発な発信を行っていきたくとも考えています。

次期、京都部部长を輩出される京都プリンスクラブ様におかれましては、今後ますます、日々の活動を深めていかれることと存じます。何卒、Yサ・ユース事業に対しても、更なるご理解とご協力をいただけましたら幸いです。

会長主題

喜び楽しみ  
 皆で笑おう

- 会長** 蔦田 茂夫  
**副会長** 田中 邦昭  
 三村 良行  
**書記** 森 伸二郎  
**会計** 小野 敏明  
**林外会長** 蔦田 智美

進捗月報

Youth Activities

11月 例会案内

### 1日(日) 京都部部会

第20回京都部部会、京都ホテルオークラで午後3時より登録開始で開催されます。

### 18日(水) 通常例会

永山友美子さんをお迎えして、アイリッシュハーブの演奏と感情豊かなお話を聞かせていただく例会です。お知り合いをお誘いしてご参加ください。

例会出席

10月第一例会	13名
10月第二例会	13名
在籍者数	16名
メンバー	2名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	0円

ファンド

	0円
累計	148,750円

ニコニコ

10月第一例会	0円
10月第二例会	0円
累計	10,000円

## 10月第一例会

2015/10/7  
岡西 博司



今日は、ゲストとして西日本区理事の遠藤通寛氏が来られた。本当に、ざっくばらんな人で「このクラブは自分のクラブと似ているので、自クラブに居るようです。」との発言。遠藤さんのクラブってどんなんやろ？

今日の会長挨拶では、榎木さんの事で、感極まって涙する場面もあり、少々硬い感じで始まったが、遠藤理事のスピーチで和やかな、普段の例会の雰囲気に戻っていった。

来年の京都部会を行うためにどうするのか？

部会のテーマを第一報に載せてはどうだろうか？

僕たちのクラブのテーマである「未来の子供たちの為に我々が為すべきことは？」を大きくアピールしようと言う事に決定。又、文字を英語・中国語・韓国語・日本語の四つの文字で書くことに決定。使用する写真もサバエでのボートに乗って出発する物に決定。構成は宇高さんにお任せ。・・・ドンドンと決まって行きました。我々メンバーの振り分けも提案されましたが、再考と言う事になりました。とにかく、第一報は大筋決定。これからは中身を詰めて行かねばならないと言う事である。

どんな京都部会が出来るのか、楽しみ半分、不安も半分と言ったところでしょうか。



## DBC 富士山例会

飯尾 豊



9月27日(土)、28日(日)に富士山五合目の佐藤小屋で行われました。我がクラブからは岡西ワイズ、岡西メネットと私の3名の参加でした。私が参加するきっかけは、京都でアジア大会が開催された時に多くの富士五湖クラブ、東京サンライズクラブメンバーと再会し是非富士山例会に参加するように勧められました。例年は車で前日から行くのですが今年は新幹線でゆっくりと行こうと言う事になり3名の旅が始まりました。まず京都駅のホームで待ち合わせ、こだま(ジバンククラブの使用者が2名)で三島まで、三島から高速バスで河口湖までお弁当とビールを持ち込みワイワイガヤガヤ、あっという間に河口湖に着き例会参加者と合流、いざ富士山五合目を目指しました。残念ながら富士山は雲の中、景色は見られなかったのですが、五合目はもう秋で草花の葉は紅葉していました。いよいよ日本で一番高い場所での合同例会が始まり、参加者は約50名、後藤ワイズの巧みな司会進行で開会点鐘、会長挨拶に続き今回は部長公式訪問であずさ部部長の挨拶がありました。ハッピーバースデーは私と岡西メネットの皆様からの祝福を受け、東京サンライズクラブの小山副会長の閉会点鐘で合同例会は終了しました。例会に続いて富士五湖クラブの会長のお知り合いの方で12年間に1300回も富士山に登山された佐々木さんの“私はなぜ毎日富士山にのぼるのか？”のミニ講演会がありました。講演を聴き最も過酷な条件を自分に課し、並大抵な精神力と努力には驚くしかありませんでした。講演の後は楽しみ

のバーベQと懇親会が始まりアルコールに任せて話が弾み富士山の夜は更けて行きました。翌朝4時45分から希望者のみご来光ウォークが始まりましたが私は昨日のアルコールが残っていて不参加でした。朝食後、お楽しみ自然散策(徒歩で五合目から三合目まで散策)これも不参加(通風の痛みあり)、五合目でゆっくりと時間を過ごし温泉と昼食は参加、2時に河口湖まで送迎して頂き高速バスと新幹線で無事京都に着きました。本当に楽しい2日間でした。皆様も是非来年の合同例会に参加しませんか？



## 10月第二例会

## 3クラブ合同例会

2015/10/21  
田中 邦昭



今期の3クラブ合同例会は、みやびクラブをゲストに迎えて4クラブ合同となり、リーガロイヤルホテルで開催されました。私は初めての経験でしたが、和やかで活気のある例会でした。

ゲスト講演に藤井聡京都大学院工学研究所教授・内閣参与をお迎えして「超インフラ論」を拝聴しました。それは今の日本におけるデフレ下ではその閉塞を打ち破る一番の方法はインフラの整備拡充に投資するのが最良であるとのことでした。アダム・スミスもカール・マルクスも、交通インフラこそが経済の繁栄にとって

必要不可欠で有ること徹底的に論じていたそうです。デフレ期においては中央政府と地方政府がインフラ投資を行えば、その資金の半分以上が税収として政府に戻ってくると主張されております。東京に対して大阪の地位転落の主な原因はこの交通インフラの差にあるとの事です。

10月24日(土)のテレビ番組「そこまで言って委員会」で朴大阪市立大学大学院教授も大阪の凋落は交通インフラの貧困に原因があると言っておられます。

さて我々も視点を変えて考える必要があるかもしれません。



## 快晴 ファンド日和

2015/10/18  
ファンド委員長 廣井 武司



今年もこの季節がやってきました。7月のスイカファンドに始まり、ぶどうファンドと、そしてメインのポテトファンド。「またファンドかいな」との声が聞こえてきそう、今回は大変苦戦いたしました。じゃがいも、かぼちゃ、たまねぎの販売は前年を下回り、さつまいもはほぼ横ばい、安納芋、りんご、まいたけで敢闘したものの、今期目標とした金額には届きませんでした。

クラブの奉仕活動の源となる資金を得るためのファンド事業。YMCAサービス・ユース事業、地域奉仕・環境事業のプログラムのために、またクラブの周年記念事業などに、会員の負担を少しでも軽減するために、奉仕資金の積み立ては大切なことと考えます。

わたしたちのクラブでは、これらのファンド事業で得た益金は全て奉仕事業に使っています。

この資金がクラブのみんなの協力でバランスよく集められればと願っています。

18日当日、市内の配達で慣れない車を運転したり、商品の積み下ろしでふらふらになったメンバーのご協力に、心から感謝いたします。また今年もクラブのOBの方々にも販売協力をいただきましたことも、あわせて報告いたします。

これらクラブファンドとは別に、国際や西日本区でのファンド事業もあります。国際ワイズダム発展のための信託基金EF(エンダウメント・ファンド)、西日本区のワイズ運動を支えるための基金JWFがあります。詳しくはロースターの48,49ページに記載されています。一度ごらんください。

## プリンスクラブ・メンバー紹介

斎藤 謙治 (さいとうけんじ)



2013年6月に入会させて頂き、早3年目に入っております。スポンサーは飯尾前期会長で、飯尾ワイズとは中学校からの同窓生で大学卒業後、暫くの間ブランクが有りましたが、同窓会で再開して、

再びお付き合いが始まり、お互いサラリーマンを経験し、現在は自営業の立場で自ら定年退職も儘ならず、健康な限り仕事を続けなければならないとお互い慰め合いながら、身体が自由に動かせる残りの時間を、他の友人も巻き込んで家族ぐるみで小旅行等を楽しんでおります。

ワイズの活動も自分の出来る事で多少なりとも社会にお返しが出来ればと参加させて頂いてます。アウトドアライフが好きな事からサバエキャンプ場での活動は楽しみです。

2013年9月号にも一度、紹介記事を掲載して頂いてますので重複しますが、仕事は舞台幕の製作・納入で、昨今新築のホールが激減しており、もっぱら改修工事で食い繋いでます。

入会時より私生活で大きく変化した事は、娘が孫を連れて戻って参りましたので、雑事に振り回される日々が続いています。

## IBC交流

### West Oahu Club Memberと道東へ

2015/9/23~28

森 伸二郎



一年ほど前、West Oahu Clubのボブ(Robert Kuwahara)さんから、『来年の9月下旬頃に紅葉を見に北海道へ一緒に行こう』とのメールが届きました。紅葉の時期にはちょっと早いかなあと思いつつも『それじゃ、道東を案内しましょう』と返事をしました。年が明けて、ほぼスケジュールも決まり、West Oahu Club では参加者の募集が行われ、IBC締結時の会長Walter Osakodaご夫妻、Jean Matsudaさんとボブさんご夫妻の5人が来られる事になったのですが、Walterさんが手術を必要とする病気になられ、Osakodaご夫妻は来れなくなってしまいました。プリンスからは、

西村ワイズとメネット、そして森夫婦の4人の参加です。

9月23日午後1時過ぎ、中標津空港でWest Oahu Clubの3人と合流。北方領土の見える根室、世界遺産の知床半島、釧路湿原でのカヌーセーリング、阿寒湖、ロープウェイで大雪山系旭岳の中腹へ、そして十勝千年の森でのセグウェイ体験の旅が始まりました。

北海道と言えば美味しい海鮮をと、1泊目の夕食は寿司割烹で、翌朝は花咲漁港の食堂でサンマ、お昼は羅臼で海鮮丼と、上手にお箸を使って食べられるのですが、海鮮ばかりでは、彼らにはちょっと無理があった様子。その日の夕食は、ファミレスでパスタやハンバーグを食べました。

知ってる単語だけを並べ建て、文法なんて何のその、5泊6日一緒旅をしていると、片言の英語でも十分に気持ちが通じ合えました。West Oahu の3人は、ある事情もあって西村・森の両メネットに大変感謝されてハワイへ帰られました。

来年9月の京都部部会には、是非参加したいとも仰いっておられました。



## 仁川YMCA訪問記

2015/10/16-18

岡西 博司

韓国の仁川YMCA、台湾の台中YMCA、京都YMCAの三つのYMCAはお互いにブラザークラブとしての有効関係を続けてきています。今回は、その三つのYMCAが一堂に会して、お互いの事業等を紹介し、交流を深め、友好関係をより一層強固なものにしましょう。と言うのが大きな目的の一つの会合でした。今回が第一回目で、仁川YMCAが主催して頂きました。日程は10月16~18日。京都からは、神崎総主事を筆頭に5名のスタッフと通訳の方一名と、亀井理事長、堀井理事と何にもなしの僕の9名で参加してきました。

仁川YMCAを訪問したのは初めてで、日本のYMCAと一番違うのは、大学生のリーダー達がないという事でしょうか。1976年に京都YMCAと交流を始めた時はスタッフ3名で始めたばかりで、本当に京都YMCAに良くして頂いたと感謝されていました。(おかげで、VIP待遇の三日間を過ごさせて頂きました。)今はスタッフ数100名を超え、ランチも4つあり、凄いパワーを感じました。又、台中のスタッフ達とも交流が出来、是非とも台中にも訪問したくなりました。

国を超え、文化の違いも感じましたが、同じYMCAに属しているという気持ちが有るだけで、こんなにも素敵な関係を持てたことを感謝したい気持ちです。今回、みんなと一緒に行った事を心より感謝したいと思っています。



## サンライズクラブ大より

10月はあずさ部の部会の月です。今年

の開催は甲府でした。山梨県で会社を経営されている雨宮 清さんの「モノづくりを通しての国際貢献」と言う、1995年に社内にプロジェクトチームを発足させ地雷除去用の大型ブルを作り、1998年に試作1号機を完成、実弾試験、実地試験を繰り返し、その後世界各地で、特にカンボジアでの地雷除去と農地造りを行っている話を聞きました。

また、10月の第一例会には山手センターの5名のリーダー達をお招きし、東日本区のユースボランティア・リーダーフォーラム(経験1~2年のリーダーの研修)と、全国リーダー研修会の参加報告を伺いました。サンライズとしては実に久しぶりの画期的な例会プログラムでした。これを機会にリーダーとの交流を充実させてゆく予定です。



永井 康雅  
(和歌山紀の川クラブ)

## YMCAからワイズ・ワイズから…

この表題は私のワイズ関連の歴史と心の揺れの表現です。

大学に入学し、隣の席に座った人が自己紹介で、大阪土佐堀YMCAの予備校出身であると知りました。その当時の土佐堀YMCA予備校の出身者は優秀な人達であると評判でした。YMCAを知ったのはその時が初めてでした。それがキッカケで土佐堀YMCAの英会話・ダンス教室などのプログラムに参加するようになりました。若い人達が集い、スタッフのカッコ良さに好印象を持っていたのですが、その後、YMCAとの関わりができたのは結婚し、子供が幼稚園に行くようになってからです。

偶然、幼稚園の体操教室が和歌山YMCAのプログラムで行われており、和歌山YMCAの存在を知り、ワイズを知り、ワイズの先輩で和医大口腔外科の教授だった故坂本先生の誘いもあり、1982年に和歌山ワイズに入会しました。

私もまだ若くワイズの集いに居ることが楽しく、家族でワイズライフを楽しみました。何よりも一番良かったのは私の交友関係が一気に広がった事でした。思いもよらない人達との交流ができ、六十歳で洗礼を受ける後押しをしてくれた、忘れることのできない、そしてもう逢うことのできない長井潤さん(名古屋クラブ)、そして現在、クアラルンプールで活動中の西村清先生(名古屋クラブ)との出会いがありました。

原俊彦氏(富士五湖クラブ)が貴クラブブリテンに書かれていましたが「ワイズとは不思議な存在」とは私もまったく同感です。

表題の「YMCAからワイズ・ワイズから…」とは最近の私の心境です。紀の川クラブもご多聞にもれず高齢化でメンバー数が少なくなりました。何年か前のような生き生きとした楽しさと、やる気が私の中で引いてしまうのをもう一人の自分が見てしまいます。あれから三十数年・歳のせいにはしたくはないのですが、私にとってワイズライフは「楽しくなければ」が譲れない重要要素であります。

現在、和歌山YMCA理事長として、接する機会の多い若いスタッフやリーダー達との交流が楽しくて仕方ありません。そして七十歳から始めたロードバイクと二十年続いているテニスについて足が向かってしまいます。

しかしこれだけは言えます。YMCAとワイズは私にとって大きな存在であることに間違いはありません。

## ごめんやっしゃ、YMCAさん

今回は、一回の事務所で働いておられる「亀山みぎわさん」を紹介させていただきます。「最初にお聞きしたいこと、お名前ですが「みぎわ」と言う名前は何処から来たのでしょうか？」と言う僕の質問に「聖書の詩篇23編2節から取られています。『汀』と言う意味でみずぎわとかオアシスと言う意味が含まれています。」と、さっとお答えいただきました。きっと、いろんな方に聞かれておられるんだなと思いました。僕もクリスチャンの端くれ、早々に家に帰り聖書を紐解き有名な言葉「主はわれをみどりの野にふさせ、いこいのみぎわにともないたもう。」を発見しました。

当然、ご両親もクリスチャンで、就職に関してもキリスト教関係のYMCAを選ばれたのでした。しかし彼女は「京都女子大学」出身です。『京女』は確か仏教系の大学では？

YMCAに入職されて、7年目で学校関係からスイミングへそして今年から野外担当の職員とされました。野外と言ってもディレクターではありませんので、いつも事務所に居られます。

小学校の5年～6年の時にはアメリカで暮らし、その後日本に帰って来られましたが、英語を喋らないと忘れてしまうので、大学では一生懸命勉強されたようです。趣味はピアノ・サクソ・フルートといった楽器を楽しんでおられます。

将来は？との問いかけに、海外に出て行きたい。特にヨーロッパ・アフリカ・南アメリカ等まだ行けてない所に行きたいです。しかし父はベトナムやタイが良いぞと言ってます。とのお答えでした。

若いうちにどんどんといろんな体験をされたら益々素敵なお嬢様に成られるのではと思いました。





### 1. 国際協力街頭募金

戦争や紛争の中で飢餓や貧困に苦しめられている人々の救済、アジアやアフリカの青年と女性の社会参加と自立、海外での自然災害の被災者救援を目的に、毎年国際協力募金を行なっています。今年も会員・市民ボランティアの方々が協力して、街頭で国際協力を呼びかける募金活動を行ないます。参加及び募金にご協力ください。

日時: 11月1日(日)午後1時～午後2時30分(12時三条本館ロビー集合)

場所: 三条河原町、三条大橋、四条河原町、四条烏丸、など市内約11カ所(予定)

お問合せ: 京都YMCA国際協力専門委員会  
(TEL)075-231-4388 (E-mail)kyoto@ymcajapan.org

### 2. YMCA祭

京都YMCA国際福祉専門学校生の日頃の取り組みを発表し、京都YMCAや地域に連なる方々との交流を図ることを目的に毎年実施しています。学生によるステージイベント、模擬店や物品販売を実施し、収益は国際協力募金等に充てさせて頂いております。楽しく気軽に参加できるよう準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 11月3日(祝)午前10時～午後3時

場所: 京都YMCA国際福祉専門学校

### 3. パネルディスカッション

#### 「アジアの若者が語る夢と出会い」

グローバル化が進むこの社会の中で、今、夢を持って海を渡る若者は何と格闘し、どんな出会いがあるのでしょうか。パネルディスカッションで、アジアの若者達がそれぞれ思いを語ります。そんな彼らの思いに耳を傾け、国や世代を超えて、あなたも発言してみませんか?お申込み不要、どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

日時: 11月13日(金)午後7時～9時

場所: 京都YMCA地階マナホール

参加費: 無料(申込不要) / 定員: 50名

お問合せ: 京都YMCA(TEL)075-231-4388 (E-mail)kyoto@ymcajapan.org

### 4. 舞鶴YMCA国際協力街頭募金、YMCA祭

舞鶴YMCA国際福祉専門学校でも国際協力街頭募金とYMCA祭を行います。どちらも舞鶴で初めての行事です。

YMCA祭では、地元の方との交流の機会として、寄席や占いブース、模擬店など楽しい催しを用意しております。ぜひお越しください。

日時: 11月15日(祝)

国際協力街頭募金: 午後12時30分～ / YMCA祭: 午後1時～4時

場所: 舞鶴YMCA国際福祉専門学校

内容: YMCA寄席(森乃福郎さん他): 午後1時30分～  
他にも、高島秀周先生の占いブースや専門学校生、福祉施設、ワイズメンズクラブの模擬店、イベントコーナーもあります。

### 5. YMYW世界合同祈禱週集会

世界のYMCAとYWCAでは、毎年11月に「世界YMCA / YWCA合同祈禱週」として世界の抱える様々な問題について共に祈る週としています。今年のテーマは「希望あれ」です。京都YMCAと京都YWCAは、京都YWCAも取り組んでいる児童養護施設退所後の若者の自立支援の問題をテーマに、パネルディスカッション方式で児童養護の現状と課題、若者の自立支援の方法を考えていきます。

日時: 11月21日(土)午後6時30分～

場所: 京都YMCA地階マナホール

参加費: (一般)500円 / (学生)300円 軽食付

お申込み・お問合せ: 京都YMCA

(TEL)075-231-4388 (E-mail)kyoto@ymcajapan.org

### 6. オータムフェスタ

毎年行われる秋のイベントです。自然豊かなリトリートセンターで、紅葉と秋の味覚を楽しみましょう。ご家族、お友達とぜひご参加ください。

日時: 11月22日(日) 午前11時～午後3時(受付開始: 午前10時30分)

場所: 京都YMCAリトリートセンター

参加費: (大人(中学生以上))2,000円 / (小学生)1,000円 / (幼児)無料

※京都駅、JR宇治駅、京阪宇治駅より無料送迎バスあり。(要事前申込(11月19日(木)締切))

お申込み・お問合せ: 京都YMCAリトリートセンター事務局  
(TEL)075-231-4388(当日のみ: 0744-24-3838)

(E-mail)ritcen@ymcajapan.org

## 10月度 役員会報告

### 報告事項

- 部会にて、次期部会のチラシを配布 15:00会場に集合の事
- 地域奉仕・環境委員長の代行を 廣井ワイズとする
- YMCA祭りは、現地9時30分集合 ホットドック100食提供
- ジャガイモファンド益金 ¥253,952円

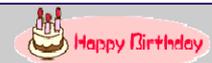
### 承認された事項

- なし

## 11月 スケジュール

- 1日(日) 京都部部会 15:00 京都ホテルオークラ
- 3日(火) YMCA祭り 10:00 京都YMCA
- 18日(水) 第二例会 19:00 グランドプリンスホテル
- 21日(土)～23日(月) マイマイキャンプ 大津市葛川少年の家
- 22日(日) オータムフェスタ 宇治リトリートセンター
- 25日(水) 役員会 19:30 京都YMCA

## 11月



3日 蒔田 茂夫ワイズ

### <編集後記>

今月は、飲み会、韓国旅行、ゴルフレッスン開始・・・いろんなことが有り忙しい月でした。しかしお願いした原稿はほぼ期限内に集まりました。(一部はまだですが)メンバーの皆さんも少しは協力体制になってくれてきています。嬉しいことです。続くことを期待しています。